

シリーズ教育相談 Q & A

ネット上での子ども同士の
トラブルやいじめが心配です。
どうしたらよいでしょうか…。

中学3年生女子の母親です。部活動を引退し、受験勉強に集中して取り組むことや、知らない人からのメール等には返信しない等の約束で、8月にスマートフォン(以下「スマホ」という。)を持たせました。その後、インターネット(以下「ネット」という。)上でいくつかのグループに入ったようで、9月下旬頃から「あの子の書き込みがうざい。」「自分の書き込んだ内容がうまく伝わらず誤解された。」と時々つぶやいています。娘に聞いても具体的には話してくれません。また、最近では、家庭学習の時間が減り、夜遅くまでスマホを使っているようです。笑顔が減り、溜め息をつくことが多くなっています。親としては、ネット上での友人関係のトラブルやいじめについて心配しています。子どもがこの先、困らないようにするために、改めて家でのルールをつくりたいと思っているのですが、どのようなルールをつくらればよいでしょうか。

A お子さんの様子から、ネット上でのトラブルを心配されていることと思います。ネット上での友人関係のトラブルやいじめについて再度、確認した上で、御家庭で改めてルールをつくる際に気を付ける点を考えていきましょう。

ネット上でのコミュニケーションは、文字だけのやり取りになることが多いため、書き方によっては、相手を傷付いたり、自分が傷付けられたりすることがあります。場合によっては、特定の子どもに対する誹謗・中傷が集中的に行われ、ネットいじめにつながる場合があります。

こうしたネットいじめの特徴は、学校の内外を問わず、絶えず攻撃されるなど逃げ場がないことです。同調圧力という集団心理が働き、いじめがエスカレートしていきます。ネット上という周囲から見えにくい閉ざされた環境は、集団心理が加速しやすい場です。お子さんがネット上でコミュニケーションをとる時、どのような書き込みをしているのか確認し、書きたいことと書き方について話し合ってみるのもよいでしょう。

その上で、今一度スマホの使用についてのルールを確認しましょう。お母さんが心配していること、気を付けてほしいことをしっかり伝えるとともに、お子さんの気持ちをしっかり聴き、お子さんに正しくスマホを使うために必要なルールを考えさせることが必要です。このようにして、

お子さんと話し合い、お子さんが納得できる具体的なルールを決めてください。例えば、「時間」「場所」「場合(状況)」の視点からルールづくりをしてみるのもよいでしょう。「9時以降は、スマホはリビングに置く」「家での利用時間は1時間以内とする」などです。この時それらの行為が悪いと言うよりも、「寝不足」や「視力低下」などの具体的な弊害があることや、加えて、それを心配していることを伝えるとよいと思います。

また、周囲から見えにくいことがネット上のいじめの特徴であることから、家庭と学校が協力して、子どもの様子の変化を注意深く見ていく必要があります。お子さんの発言や様子からは危険信号を発していると思われるので、お子さんの気持ちに寄り添いながら、お子さんが話すことを丁寧に聴き、学校にも相談し、現在の状況を確認しましょう。

また、学校や地域で行われる親子参加型のワークショップ等の研修会があれば参加し、ルールづくりだけではなく、SNSや写真投稿サイトなど、写真や動画を公開できるサービスについて、お子さんが自分の身を危険にさらさないために、どのようなことに気を付けたらよいのか、親子で一緒に学ぶことも大事です。もし困ったことや心配なことがあれば、学校に御相談ください。